

川口鋳物工業企業研究会

定時総会

川口鋳物工業企業研究会(鋳研)は、第63回定時総会を、4月20日に川口総合文化センター・リリアの銀座アスタールで開いた。

代表幹事として4年目を迎える伊藤暢宏代表幹事(伊藤鉄工(株)代表取締役専務)は留任。副代表幹事は5年目を迎える長堀雅一氏(株)長堀鐵工所代表取締役社長と今年度から富岡一允氏(株)富喜鋳工所専務取締役)が就任した。たたら祭りプロデューサーに石川豪一氏(石川金属機工(株))、総会資料作成兼総会担当に石井暁生氏(ストーン・プロンス(株)代表取締役社長)、講師例会担当に長



4議案を審議し承認された

堀氏、県外視察担当に小島章弘氏(栄鋳造(株)代表取締役)、新年会担当に柳澤佑哉氏(有富崎合金鋳造所鋳造部門リーダー)がそれぞれ就任した。

会計幹事は富岡氏、会計監査は小島氏、会計補佐は石井氏が務める。

総会では2022年度の事業・会計報告や、23年度の事業計画案・収支予算案の4議案について審議し、異議なく承認された。

なお1996年度に入会以降、26年にわたり研究会員として活躍した故田中大裕氏が49歳に達したため、規定により鋳研を卒業した。また新入会員として寺門宏貴氏(株)



伊藤代表幹事

代表幹事を務めることになり4年目を迎える。世の中はコロナがまたこれから1年、よろしくお願いたします。

少し増えている中、物価の高騰やウクライナでの戦争などいろいろな状況になっている。お客様も、老人を使うか女性を使うか外国人を使うか、となっているのが現状。研修生に關しても制度が変わってきている。そんな中、ITを活用していかなければと感じている。先日「チャットGTP」を使い、代表幹事挨拶文を書き込んでみた。内容を読み上げる。

「川口鋳物工業企業研究会の代表幹事を務める伊藤です。本日は総会・懇親会にご参加いただき誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。当研究会は鋳物製品の品

質と技術向上を図るため、会員企業の連携と交流を大切にしています。本日の懇親会では会員企業の皆様との交流を深め、より一層の企業の発展につながるよう願っています。当研究会の活動に、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。内容にびびりました。これからは挨拶文が非常に楽になると思った。ITも活用していくと、仕事もスムーズになるかなと感じました。

また「川口鋳物工業企業研究会 代表幹事 総会懇親会 挨拶文 ぶさけり」を書き込んでみたところ、「申し訳ございません。

本日は、このような時期に総会を、という声もあつたのだが、昨年、悲しい別れが多数あった。今年4月20日、「死人ゼロ」ということで選ばせていただいた。しんみりすることもあつたかもしれないが、最後まで皆さんとともに懇親を深めていきたいと思つたので、よろしくお願ひいたします。本日はありがとうございます。



(左から) 新役員の小島氏、富岡氏、長堀氏、伊藤氏

懇親会

総会後に行われた懇親会には来賓やOBを含め62人が出席した。冒頭で挨拶した伊藤代表幹事は「昨年、誠にありがとうございました。引き続き、懇親を深めたい」と述べた。

続いて来賓として川口鋳物工業協同組合の石川義明理事長、新藤義孝衆議院議員代理として秘書の菊地博氏、奥ノ木信夫川口市長代理として政務担当秘書の小宮山祐紀氏、永瀬秀樹埼玉県議会議員代理として金子英輝氏がそれぞれ挨拶。来賓紹介後、鋳物組合相談役

奥ノ木市長代理の小宮山氏

永瀬議員代理の金子氏

乾杯は細野商工会議所会頭

で川口商工会議所会頭の細野博隆氏が乾杯の音頭を取った。

続いて伊藤代表幹事が

逝去された田中大裕氏に對し、卒業会員への感謝状を家族へ贈呈し、これまでの功勞に感謝の意を表した。その後、新役員紹介として4人が登壇。富岡副代表幹事が「長堀副代表幹事と共に、伊藤代表幹事と鋳物を支えていくために頑張りたい」と挨拶。また新入会員と



来賓やOBなど多くの人と懇親を深めた

新製品・新技術に関する アイデア募集

川口新製品等開発振興奨励制度として「新製品・新技術に関するアイデア」を募集する。

提案資格は川口市内在住・在勤の人、市内に事業所を有する中小企業者(市外企業との共同開発や受託開発の提案並びに任意団体の人も提案できる)。川口市の産業振興に役立ち、創意工夫による具現体的かつ実現可能な提案で①新製品の開発を伴うもの②品質、機能、デザインの向上などを通じて既存製品の高度

恒例のアトラクションでは、落語家の三遊亭葉生氏が登場し、会場を大々笑いで包んだ。

閉会の挨拶は鋳物組合の平石正治副理事長(有乾特殊鋳造所社長)が受けた。

して椎名静子氏、高柳早希氏がそれぞれ挨拶した。

審査の結果、優秀と認められた提案については1件につき60万円以内の奨励金を交付する。提案件数は1人または1企業につき3件以内。募集期間は8月1日～9月29日。受け付けは事前予約制で、9月26日までに電話で受け付け日時を予約する。

応募方法は川口産業振興公社ホームページで確認を。問い合わせは同公社(☎048・263・1110)へ。

機械振興賞

受賞候補者を募集

機械振興協会は「第58回機械振興賞」の受賞候補者を募集している。優れた開発や実用化、開発の支援活動を通じて日本の機械産業技術の発展に著しく寄与した企業・大学・研究機関・支援機関と開発・支援担当者を表彰する。

表彰対象は①独創性、革新性、経済性に優れた機械産業技術の開発と実用化を通じて、新製品の創出、製品の品質や性能の改善、生産の合理化等に顕著に寄与した企業等と開発担当者②継続的に行われた支援活動が、中小企

業の優れた技術開発に、大きく寄与した場合に、支援を担当した支援機関やその担当者等。

表彰対象①には経済産業大臣賞、中小企業庁長官賞等、表彰対象②には中小企業基盤整備機構理事長賞等が授与される。

応募受け付けは5月31日必着。「募集要領」「応募書類の様式」はURL(https://www.jspmi.or.jp/tri/prize/)からダウンロードできる。

問い合わせは同協会技術研究所 賞事務局(☎042・475・1168)へ。

機械振興協会は「第58回機械振興賞」の受賞候補者を募集している。優れた開発や実用化、開発の支援活動を通じて日本の機械産業技術の発展に著しく寄与した企業・大学・研究機関・支援機関と開発・支援担当者を表彰する。

表彰対象は①独創性、革新性、経済性に優れた機械産業技術の開発と実用化を通じて、新製品の創出、製品の品質や性能の改善、生産の合理化等に顕著に寄与した企業等と開発担当者②継続的に行われた支援活動が、中小企

業の優れた技術開発に、大きく寄与した場合に、支援を担当した支援機関やその担当者等。

表彰対象①には経済産業大臣賞、中小企業庁長官賞等、表彰対象②には中小企業基盤整備機構理事長賞等が授与される。

応募受け付けは5月31日必着。「募集要領」「応募書類の様式」はURL(https://www.jspmi.or.jp/tri/prize/)からダウンロードできる。

問い合わせは同協会技術研究所 賞事務局(☎042・475・1168)へ。